

こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。



県産業・雇用拡大県民運動推進功労者表彰

7月17日(火)、沖縄県が推進する「みんなでグッジョブ運動」の一環で、高齢者や障がい者・若年者の雇用機会の拡大や就職支援等に積極的に取り組む企業に対し、その功績を称え、表彰式が行われました。受賞した7社のうち、宜野湾市からは(株)サンエーと(株)プロトデータセンターが表彰されました。受賞者を代表して挨拶したサンエーの上地代表取締役社長は、「今後も、一人ひとりが働き続けやすい環境づくりをすすめたい」と抱負を述べていました。



住みやすい地域づくりを目指して

身体障がい者の生活向上を目指し、それぞれの個性を發揮できる快適な居場所づくりを目的に、市身体障がい者福祉協議会(玉寄長勇理事長)主催による「第3回歌謡・民謡絆フェスタ」が7月8日(日)に開催されました。玉寄理事長は「身障者の皆さんに大きな夢や希望を持っていただくためにも、このような場は重要です」と挨拶しました。

自治会に加入しましょう!

自治会加入促進強化事業実行委員会

ぎのわんゆいマルシェが新装開店

宜野湾市の農水産業振興拠点施設「ぎのわんゆいマルシェ」が7月14日(土)に新装開店しました。新しく生まれ変わった海産物コーナーでは「海鮮みなと食堂や創作寿司コーナー」が新たにオープンし、鮮魚コーナーでは新鮮な刺身や鮮魚が特価で販売され、マグロの解体ショーは多くのお客で盛り上がりました。一方、はごろも市場ではマンゴーフェアや新米の特価販売が行われ、終日多くのお客さんで賑わいをみせました。



交通安全協会の新役員です

7月24日(火)、宜野湾地区交通安全協会の新役員が就任挨拶のため佐喜眞市長を表敬訪問しました。会長には桃原崇さんが、副会長には与那城米子さんが就任しました。桃原会長は「本市は北谷や浦添に面しており、交通量が多いので、危険な交通事故を未然に防ぎ、減らしていきたい。これは我々だけでなく行政とも連携して交通事故や飲酒運転の防止に取り組んでいきたい」と語りました。



市制50周年を記念して

7月19日(木)、市建設業者会(東賢一会長)が市役所を訪れ、宜野湾市制施行50周年記念事業実行委員会へ寄付金を贈呈しました。東会長は「宜野湾市制施行50周年おめでとうございます。この寄付金を市制50周年記念事業に少しでも活用していただければ幸いです」と挨拶しました。



大謝名小学校・幼稚園 津波避難訓練を実施

7月3日(火)、大謝名小学校(石坂晃校長)と大謝名幼稚園は全校児童・園児合計797名が参加し津波を想定した避難訓練を行いました。訓練では震度5強の地震が発生したと想定し、目標地点である海拔約40m地点を目標想定時間より短い約15分間で全員が到着することができました。



子どもたちに食に対する興味・関心を

6月25日(月)、新城児童センターでは宜野湾市食生活推進員(ヘルスメイト)の方をお招きして、『野菜がもっと好きになる食育教室』が行われました。おにぎりに好きな野菜やふりかけを混ぜ、それを麺棒で伸ばす米せんべいを作りました。子どもたちの食に対する興味・関心はさらに深まり、「お家の人にも教えたい!」という声も聞こえ、とても良い食育教室となりました。



真栄原地域に新たに認可保育園が開設!



7月7日(土)、待機児童の解消と多様化する保育ニーズに応えるため、新たに認可保育園として創設された社会福祉法人可愛福祉会きらら保育園(新垣善正理事長)の落成式が同保育園で行われました。きらら保育園には名前の由来になったきりんの『きらら』が設置されており、地域の子どもたちを温かく見守っています。



サンエーが市に寄付金を贈呈

6月28日(木)、株式会社サンエーの上地哲誠代表取締役社長らが市役所を訪れ、100万円を寄贈しました。これは7月5日に「サンエー宜野湾コンベンションシティ」が宇地泊にオープンすることを記念し贈られたもので、上地代表取締役社長は「宜野湾市の発展に役立ててください」と挨拶しました。



嘉数小学校でロボット実験授業

7月5日(木)、嘉数小学校(多和田稔校長)で国立沖縄工業高等専門学校の教諭や学生たちを招き、3年生を対象としたロボットや機械に関する特別授業を行いました。四足ロボットや振動ロボットの制作、色の実験、水の温度差による空気を利用したスターリングエンジンなどの様々な実験に子どもたちは目を輝かせていました。

防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。 ☎ 896-2401